

和地ひとみレポート No.461

インターネット公有財産売却システムを利用し公有財産の売却を実施 不用となった公有財産売却で歳入を確保

■公有財産を売却

…1月13日、市は「せり売りに係るインターネット公有財産売却の実施に関する公告」を出しました。この公告の最初に『インターネット公有財産売却について、次のとおりせり売りを行うので、地方自治法施行令第167条の6及び東大和市契約事務規則第7条の規定により公告する。』と書かれているように、地方自治法施行令第167条の6には「普通地方公共団体の長（＝市長）は、一般競争入札により契約を締結しようとするときは、入札に参加する者に必要な資格、入札の場所及び日時その他入札について必要な事項を公告しなければならない。」とされています。

…また、東大和市契約事務規則第7条においても「一般競争入札により契約を締結しようとするときは、入札期日の前日から起算して少なくとも10日前に公告するものとする。ただし、急を要する場合には、その期間を5日までに短縮することができる。」ともされています。

…今回の公告で示されている“参加申込み期間”は『令和5年1月18日（水）午後1時から令和5年2月6日（月）午後2時まで』。東大和市契約事務規則第7条に照らし合わせてみると、「1月18日の前日から起算して10日前」は1月8日、また、「急を要する場合は5日までに短縮できる」に照らし合わせると13日となります。

…よって、今回の公告の日付が1月13日だったため、“急を要する”に該当することとなりますが、内容から察するに、年末年始だったことを受けて、5日前を選択したのではないかと思います。

■どうやって“せり売り”するのか

…今回の公有財産の売却は公告のとおり“インターネットでのせり売り”。東大和市は、以前、税滞納者の差し押さえ物件を「Yahoo!官公庁オークションサービス」を利用して、売却したことがあります。しかし、「Yahoo!官公庁オークション」は2021年3月31日でサービスを終了。その後、「官公庁オークション」については、紀尾井町戦略研究所株式会社が運営する「KSI官公庁オークション」で行われるようになったことを受け、東大和市の今回の公有財産の売却のせり売りも、この「KSI官公庁オークション」に掲載して行います。

【KSI官公庁オークションの概要】 ※KSIのHP参考

KSI官公庁オークションとは、各行政機関によるインターネット公売や公有財産売却に参加する場を、インターネット上で提供するサービス。

インターネット公売・公有財産売却では、コレクターアイテム、特殊車両、土地、不動産など、ユニークなアイテムがたくさん出品される。出品者は100%行政機関のため、



安心・安全にオークションを楽しむことができる。

（出品者）

インターネット公売や公有財産売却を実施する行政機関（市町村などの地方公共団体や、警察、消防機関など）

（入札者）

KSI官公庁オークションの会員登録者で、物件の参加申し込み手続きを完了したユーザー

（2つの出品の種類）

① インターネット公売

税金滞納者の差し押さえ財産を落札できる。

自動車、不動産、時計や宝石、コレクターズアイテムなどバラエティ豊かな出品がある。代金は、滞納者の未納税金などの支払いに充てられる。

② 公有財産売却

行政機関所有の財産を落札できる。

公用車や公有地、消防車や救急車のようなユニークなものから、身近な事務用品まで、様々な出品がある。代金は、実施行政機関の歳入として活用される。

…以前、東大和市が「Yahoo!官公庁オークション」で実施したのは、上記①のインターネット公売。そして、今回行うのは②の公有財産売却、かつ「せり売形式」となり、売却できた際の代金は、東大和市の一般会計の歳入となります。

…今回の公告を受け、「KSI官公庁オークション」のサイトを覗いてみたところ、1月14日時点での出品物件数は2,094件。うち不動産は258件、自動車は103件。そのほか、パソコンやゲームのコントローラー、宝飾品、家具、家電、小物雑貨、ウイスキー等、ありとあらゆるものが出品されています。そして、最も安いものは物品価格1円からありました。

…また、実施方法については「せり売形式」と「入札形式」の2種類。「せり売形式」では、参加者は入札期間中であれば何回でも入札が可能で、入札開始後の入札状況の履歴は随時確認可能。最終的に最も高い金額で入札した人が落札者となります。一方、「入札形式」では、入札可能な回数は1回のみで、入札期間中は、入札件数や入札履歴は公開されず、開札後、開札結果のみが公開されます。そして、こちらも最も高い金額で入札した人が落札者となります。

（裏面に続く）

■東大和市は何を出品するのか

…今回、東大和市が出品するのは以下の3点。
物件情報にある「予定価格」とは、あらかじめ市が定めた最低売却価格（消費税相当額及びリサイクル料金を含む。）であり、この金額以上の入札額を有効とする価格です。

【出品する3点の概要】

- ① 消防車：初年度登録平成16年(2004年)
総排気量：4.77L 走行距離：5,141km
予定価格：15万円
- ② 消防車：初年度登録平成17年(2005年)
総排気量：4.77L 走行距離：6,731km
予定価格：15万円
- ③ 図書館車：初年度登録平成元年(1989年)
総排気量：3.56L 走行距離：17,299km
予定価格：8万円

…③の図書館車は、令和3年(2021年)3月末、車両の老朽化等により維持が困難になったため運行を終了した移動図書館「みずうみ号」。

…東大和市には、移動図書館車が今まで2台あり、初代は昭和52年(1977年)に導入され、今回出品された「みずうみ号」は平成元年(1989年)に導入されたもの。33年間にわたり活躍した「みずうみ号」は、市のシンボル多摩湖から名付けられ、「みずうみ」を思わせる水色のボディが特徴。3,500冊の本を積んで、多摩湖畔自治会集会所、中北台公園、蔵敷公民館、向原市民センターを隔週で巡回していました。
…また、東日本大震災の時には、被災した石巻市に向き、震災の年2011年5月～10月の半年間、現地の移動図書館車として活躍していました。

…この「みずうみ号」引退時に、私は、レトロ感があり、希少な「みずうみ号」をどうにか活かさないか市に働きかけましたが、ナンバーを外すと移動ができなくなることで、また、自動車ということで管理が難しいこと等により、活用は難しいとのことであきらめるしかありませんでした。

…その後、廃車されたものとばかり考えていた「みずうみ号」が、今回、出品されることを確認して、びっくり。市では、本来の「図書館車」として購入するというより、いわゆるマニア的な方が購入するのではなにかと予想しているようです。

■入札に参加するには

…東大和市の公有財産売却への入札については、基本的には誰でも参加できますが、公告では、「18歳未満の人」、「破産者」や「暴力団員、もしくは関係者」、

「日本語が理解できない者」、「日本国内に住所、連絡先がいない者」、そして「当該公有財産に関する事務に従事する市の職員」などは参加資格がないと示されています。

…また、参加申し込みについては、「仮申込み」と「参加申込み(本申込み)」があり、その内容は以下のとおりとなっています。

【参加申込】

1) 仮申込み

◆手続：
KSI 官公庁オークションの売却物件詳細画面より、住民登録のされている住所、氏名などの公有財産売却の参加者情報を登録し、公有財産売却の参加仮申込みを行うこと。

◆期間：R5年1月18日13時からR5年2月6日14時

2) 参加申込み(本申込み)

◆手続：
仮申込みの手続のうえ、市のホームページより「公有財産売却 参加申込書兼入札保証金返還請求書兼口座振替依頼書」、「誓約書」を印刷し、必要事項を記入・押印後、「6 提出書類」を添付のうえ提出すること。
(郵送の場合は、申込締切日の消印有効)
また、市が売却区分ごとに指定する方法により入札保証金を納付すること。

◆締切：令和5年2月16日(木)午後5時まで

…また、売却物件の下見を希望する場合は、下見会の前日(市役所開庁日に限る)までに市の総務部 総務管財課 用地管財係まで電話または電子メールにより予約する必要があります。なお、下見会で売却物件を確認しなくても参加申込みはできますが、売却物件に関するすべての事項を了承しているものとみなすとのことです。

【下見会】

○場所：東大和市役所 庁用自動車駐車場内

○日時：R5年2月1日から令和5年2月3日
午前9時から午後5時まで

■予定価格合計は38万円だが

…今回は前述のとおり、消防車2台、図書館車1台を市は売却し歳入を確保することを試んでいます。この3台の車両が予定価格で売却できた場合の合計金額は38万円。“せり売り”ですから、予定価格以上で売却できることを期待しますが、なかなか難しい状況だと思えます。この公有財産売却については、市のホームページでも詳細が確認できますが、そこには「予定希望価格で売却できなかった場合」については明記されていません。再度、価格を落として出品するのか、もしくは廃車するのか。

…少額でも歳入を確保しようとする市の努力は評価に値するので、良い結果となることを祈るばかりです。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102